令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	3	種別	有限会社	団体名	有限会社香南町農業振興公社		
所在地	香川県高松市香南町岡1270－13						
電話番号	086-879-8741			FAX番号	087-879-8731	所管部局	創造都市推進局 農林水産課
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	https://www.agream.net/						
代表者職氏名	代表取締役　川田　義弘			設立年月日	平成13年5月1日		
資本金	10,000　千円			市出資等額(割合)	9,500　千円	（ 95.0% ）	
設立目的	消費者との交流等を通じて地場産品の普及の促進及び生産振興を図り、農業活性化に資することを目的に設立。						
事業概要	(1)農産物の生産、加工及び販売を行うこと。 (2)農作業及び農産物加工の体験の場を提供すること。 (3)花き栽培施設を農業者の利用に供すること。 (4)前3号に掲げるもののほか、産地形成促進施設の設置目的を達成するために必要な事業						
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日						

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	4 人	4 人	4 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
役員平均年間報酬	1,340　千円	1,960　千円	1,920　千円
職員数(非常勤含む)	12 人	11 人	14 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	1,343　千円	1,151　千円	886　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
香南朝市	近隣の生産者が栽培した野菜や果物、花、農産物加工品、弁当等を産直方式で販売。また、公社が栽培した農産物や手作りドーナツ、揚げ物、弁当なども販売。	30,204　千円
香南アグリーム(収穫体験、料理体験、市民農園、野菜販売、教室開催等)	公社が栽培した農作物(野菜や果物)を収穫する農業体験や、ピザ、ウインナー、うどんの手作り料理や、伝統的な餅つきなど、農産物加工の体験の場を提供。農業や農作物に関する教室なども開催。	35,331　千円

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	0　千円	0　千円	0　千円
委託料	15,245　千円	15,245　千円	11,467　千円
うち指定管理料	15,245　千円	15,245　千円	11,467　千円
その他	2,822　千円	2,537　千円	3,307　千円

5 財務状況

①損益計算書

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	売上高	61,155　千円	65,719　千円	61,296　千円
	売上原価	28,425　千円	32,182　千円	32,814　千円
売上総利益		32,730　千円	33,537　千円	28,482　千円
	販売費及び一般管理費	37,030　千円	39,422　千円	36,756　千円
営業利益(△の場合は損失)		△ 4,300　千円	△ 5,885　千円	△ 8,274　千円
	営業外収益	5,890　千円	5,680　千円	6,077　千円
	営業外費用	0　千円	0　千円	0　千円
経常利益(△の場合は損失)		1,590　千円	△ 205　千円	△ 2,197　千円
	特別利益	0　千円	0　千円	0　千円
	特別損失	0　千円	0　千円	0　千円
	法人税等	80　千円	80　千円	80　千円
当期純利益(△の場合は損失)		1,510　千円	△ 285　千円	△ 2,277　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	流動資産	5,927　千円	5,708　千円	6,647　千円
	固定資産	0　千円	316　千円	101　千円
資産計		5,927　千円	6,024　千円	6,748　千円
	流動負債	4,411　千円	6,018　千円	6,457　千円
	固定負債	0　千円	0　千円	0　千円
負債計		4,411　千円	6,018　千円	6,457　千円
	資本金	10,000　千円	10,000　千円	10,000　千円
	利益剰余金等	△ 8,484　千円	△ 9,994　千円	△ 9,709　千円
純資産計		1,516　千円	6　千円	291　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

＜主な経営指標＞

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	134.4　%	94.8　%	102.9　%
自己資本比率 （純資産計÷負債･純資計産）	25.6　%	0.1　%	4.3　%

6 経営評価の総括

項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命･市が期待する役割への対応	農業を体験する拠点施設として、また地産地消の促進のため、地域住民が気軽に施設を利用できるよう努めている。 また、近隣団体(施設)と連携を深め、地域の活性化に寄与している。	農業体験拠点としての香南アグリームの運営や香南朝市を通じた地産地消の推進、地域交流の場の提供は、概ね達成されている。 今後は、年代別、地域別の利用実態に加え、参加者数の推移、満足度、再来訪意向等を把握、分析し、成果を可視化するとともに、多様化するニーズに対応していくことが求められる。 あわせて、子育て世代に加え、学校団体等、新規層に向けた体験メニューを拡充し、継続的な来訪促進に努めていただきたい。
②業務･組織管理	経費削減(人件費･光熱費等)になお一層取り組んでいる。 また、定期的にスタッフとの意見交換･面談を実施している。	職員の時間外労働の抑制や適切な人員配置に努めている点は、経費削減につながる取組として評価できる。 また、スタッフとの定期的なミーティングの実施や全員面接の取組は、組織内の意思疎通の促進、モチベーションの維持向上、良好な管理体制の構築に向けた努力として評価でき、今後の接客サービス品質の向上にもつながるものと期待される。 一方で、組織運営の効率化を進めるとともに、イベント等の実施にあたって市が担っている役割や支援の状況を踏まえ、今後は主催者側で主体的に進められる体制づくりに向けて、市の関わり方や支援のあり方を段階的に整理、見直しに努めていただきたい。

③財務状況	毎月、前年対比・計画対比による現状の問題点を認識しながら改善に努めている。 スタッフにも、情報を共有しながら経営状況を自分事として認識できるよう促している。	人件費や経費の見直し等により、収支面では一定の改善が見られたことは評価できる。一方で、香南朝市の売上が伸び悩む中、仕入れ規模の縮小等と連動して収支が改善している側面もあり、事業の収益力が向上した結果としての改善とは言い切れない状況にある。 今後、持続可能な運営を確かなものとするためには、経費抑制を継続するとともに、自己財源の確保に向けた取組を具体化し、着実に実行する必要がある。 特に、体験型メニュー等の収益事業の拡充、カフェ賃料等の設定の適正化及び複数の収入源の確保に向けた検討を進め、収益構造の強化と財務の安定化につながる施策の策定、実施に努めていただきたい。
④今後の方向性及び課題	施設の認知度アップのための方策を常に念頭において業務に取り組む。 人件費の段階的な上昇と良い人材の確保、並びに施設の老朽化に伴う修繕費増加が大きな課題である。 また、異常気象(酷暑等)・病害虫発生に今後どう対応するかなども喫緊の課題となっている。	施設の認知度向上のため、SNSを活用した情報発信や高松空港周辺エリアの観光施設や飲食店とのネットワークを活かし、来訪者の増加につながる取組を進める必要がある。 また、物価や賃金上昇を踏まえた適切な価格転嫁、人材の採用、育成、定着を進めるとともに、老朽化した設備の維持管理計画や修繕を行える財源の見直しが急務である。 さらに、異常気象や病害虫発生といった運営リスクに対して、具体的な対策を事前に整え、迅速かつ適切に対応できる仕組みを作る必要がある。 今後、市の協力を得ながらも他の民間の知恵や協力を積極的に取り入れつつ、委託事業の運用方法を改善し、持続可能な運営体制を確立し、施設の目的達成に資する効果的な運営に努めていただきたい。

【再掲】各指標の推移







